

まるたま合同会社

木村圭太さん
澤井一慶さん

PROFILE

KEITA KIMURA
KAZUYOSHI SAWAI

2021年7月「まるたま合同会社」を設立。東栄町在住の木村さんと、浜松市と東栄町の2拠点活動中の澤井さんが代表。東栄町での暮らしを循環、持続可能なものにするために活動中。

木村さん・澤井さんの活動場所
himitsu kitchen



① 愛知県北設楽郡東栄町
大字本郷字南万場3-12
(リノベーション中)

東栄町のためにできることを。
『ヒミツキッチン』が叶える
山里から新しい文化の発信



2021年12月初旬まで「CAMPFIRE」にてクラウドファンディングを公開中（左：澤井さん、右：木村さん）

”キミと〇〇”をコンセプトに
人と人との出会いが導く
暮らしのように過ごす時間

人口3,000人ほどの小さな町・東栄町。かつて林業で栄えた町も今では耕作放棄地や空き家も目立つようになり、商店街も少し寂しい雰囲気。そんな人口減少が深刻化している東栄町で、地元の人と畑を耕し、訪れた人と語り合い、そしてお互いが共有する場所と時間を…。

『まるたま合同会社』を設立して立ち上がったのは木村さんと澤井さん。木村さんは元公務員。10年間の役所勤めの後、自分の人生を生きるためにフリーランスとなり各地を放浪。美しい川に導かれて辿り着いたという東栄町に移住しました。澤井さんは元大手建設会社社員。10年間のサラリーマン経験の後、一級建築士として独立して設計事務所を設立。今は浜松市と東栄町の2拠点活動をしています。

「キミと〇〇」がコンセプト。キミと作る、キミと共有する、東栄町で出会ったキミと一緒に物語を作っていくこと。『まるたま合同会社』の挑戦を実現するために、その活動の第一歩がスタート（木村さん）。

東栄町の暮らしが循環して、持続可能なものにするために、まずは町民と旅人が集うコミュニティスペース作りから。東栄町の新たなハブとなり、日常的に町民が食事や買い物に訪れて、そこに旅人が宿泊することで交流が生まれるように。

東栄町の中心地・本郷にある、築約50年の空き家をリノベーション。歩いてすぐのところにはバス停があり、バス待ちの小学生や散歩中の町民など、世代も性別も

PLACE

中設楽の田んぼ



「中設楽の田んぼと、稲作を始めるにあたって休憩スペースとしてお借りした土地。低いところから眺める稲と山々もまた格別。春には道沿いの桜も咲き乱れ、最高の花見会場になります」

THINGS

チェンソーアート



「約9割が森林の東栄町で、豊富な自然資源を活かしたまちづくりのひとつ。待ち合わせ場所の目印やお店の看板など、様々なチェンソーアートが町内の風景に溶け込んでいます」

PLACE

お食事処 やま正



「現在リノベ中の空き家から歩いてすぐ、地元で愛されている行きつけの老舗料理店です。昔ながらの雰囲気を残した店内で、こだわりの魚介類や地元産若鶏の料理などを味わえます」

☎ 0536-76-0140

📍 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字西万場4

木村さん・澤井さんの東栄リコメンド

場所、モノ、コト

開から目が離せません！

多くの出会いの中で生まれたプロジェクトはまだ始まったばかり。『ヒミツキッチン』もお米作りも、その序章に過ぎません。東栄町を舞台に、町民も旅人もそれぞれの物語を紡いでいくために、『まるたま合同会社』のふたりが手掛ける、今後の展開から目が離せません！



1.桜並木と青空…東栄町の大自然をバックに田起こし。お米作りはここからスタートしました。2.初めてのお米作り。町のおばあちゃんをはじめ多くのサポートもあり、立派なお米が完成。3.2階でリノベーション作業中の澤井さん。固定観念にとられないフレキシブルな空間を目指して。



「2021年1月、東栄町の暮らしを考えるサロンイベント『トンネルムコウ』で、これからのまちづくりについて語り合い、木村と澤井が意気投合」



「色々な偶然も重なり、2021年3月に畳屋のおばあちゃんから休耕田を借り受けて、初めてのプロジェクトとして稲作をスタートしました」



「東栄町中心地の本郷で、築50年の空き家を現在セルフリノベーション中。1階がコミュニティスペース、2階が『宿泊所兼コワーキングスペースです』

HISTORY



4.できることは全て自分達で行っているという木村さん。年内完成を目指して絶賛改装中です。5.町民が作った野菜を置いていく…人がものを運来して、ものがまた人を呼び、開業前から何か起こる期待感！

問わず、地元の人々が行き交う、何かをチャレンジするには最高の場所です。「1階は誰もが利用できる飲食可能なコミュニティスペース、2階は宿泊所兼コワーキングスペースに。名称は『ヒミツキッチン』で、年内に完成して2022年1月のオープンを予定しています」(澤井さん)。

色々な偶然と出会いが重なり、畳屋のおばあちゃんから休耕田を借り受けてお米作りもスタート。場所は東栄町中設楽(なかしたら)、山と川が近くにありロケーションバツグンで、春には満開の桜並木も楽しめます。お米の名前は『イツモノ』に決定。『ヒミツキッチン』で過ごすキミに「イツモノ」お米を届けるために、この名称となりました。